

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 8月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 野田教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11件		適切である。活動に応じて度々活用している。	安全に過ごせるように配慮している
	2 職員の配置数は適切であるか	11件		適切である。最低基準の2〜3倍で配置している	配置人数が多い分、個々に対しプログラムが充実するようにしている 職員の急病等での急な職員不足に対応できるよう連絡体制を整えておく
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11件		ドアのダブルロックを高い位置につけたり、コンセントも手の届きにくい場所に設置している。 絵カードをすぐに出せるところに用意し情報伝達に利用している。 ホワイトボードにイラストを使用して生活の流れを示し、視覚から伝えられるようにしている	危険なところがないか日々整備する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11件		チェックリストを用い、毎日の清掃の他、ウィークリー、マンスリーの清掃を行っている 気温や室温を見て、エアコンや加湿器を使用し快適な温度湿度を保つように心がけている。 不要なものは置かず、安全な空間になっている	感染症が発生した時など教室内の随時消毒ができるよう、清掃用具、薬剤を揃えておく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11件		ミーティングや振り返りの時間を使って、課題や成長面について共有を行っている。	シフトの時間がずれることもあるので、連絡ノートやこまめな声掛けを行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11件		毎年アンケートを行い、集計内容についてミーティングを行って改善に努めている。	回収率が低いので、お声かけする
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11件		こぼんはうすくらのホームページに公開し、野田市のページにも公開している。	保護者の声や評価を支援に活かしていく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11件		こぼんはうすくら本部の方にアドバイスをいただいている	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11件		事業所内でのミーティングや研修のほかに、県の研修なども受ける機会を設けている。	職員のスキルアップがしやすい環境になっている 研修で学んだ内容を支援に活かしていく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11件		面談時に丁寧に聞き取りを行うと共に必要に応じて相談にもり、支援計画に反映させている。	保護者の希望も理解して支援を工夫していく
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11件		本部からの指導の下にアセスメントツールを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11件		ガイドラインに則って必要な項目を選択し、支援内容を設定している。	計画内容をより具体的な日々の支援方法に落とし込んでいく 全員が理解したうえで支援ができるよう、ミーティング等で伝えていく
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11件		月案の中で、子に合わせたプログラムの進め方を朝礼やミーティングで話し合っている。	支援計画をより深く理解し、職員間の相談や話し合いの機会を増やしていく
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11件		児童発達支援管理責任者と管理者を中心に、支援員と日々相談しながら立案、準備運営を行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11件		季節の食育や、毎月違ったプログラムを作成している	1つのプログラムでも曜日を変えて参加できるようにしている
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11件		個別の課題と集団での課題を意図して支援計画を作成している。	児童の状況、発達に合わせて、安全性も考えて組み合わせる
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11件		毎朝朝礼で支援について説明し役割分担を行っている。 子どもの状況についても確認している	途中から入る職員がいる場合は、支援リーダーのもと確認する 経験や能力を考慮して、最適な配置を心がける
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11件		振り返りを行っている。参加できなかったメンバーのためにノートも記入して活用している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11件		振り返りノートを活用している。	課題になることはなるべく早く児童発達支援管理責任者と相談していく
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11件		基本は半年に1度のモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っている。	必要があれば期間中にも都度見直ししていく
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11件		児童発達支援管理責任者が出席している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11件		児童発達支援管理責任者が、市役所、保健センター、児相と必要な機関と連携して支援を行っている。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象外	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象外	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11件		児童発達支援管理責任者が、保護者の希望を聞きながら、移行先との情報共有を行っている。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11件		児童発達支援管理責任者が、保護者の希望を聞きながら、移行先との情報共有を行っている。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11件		児童発達支援管理責任者が、必要に応じて、連携し助言を受けている。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7件	4件	感染症の心配などもあり、交流はまだ難しい。	外出行事などの際は外出先での交流や社内事業所間の交流を行っている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	11件		開催があれば児童発達支援管理責任者が参加している。	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11件		送迎時に様子を伝えあっている他、モニタリング以外にも電話や面談で課題の共有を行っている。	保護者からの情報は、いち早く児童発達支援管理責任者に報告をする
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	11件		電話や面談で教室での対応を紹介したりご自宅での対応についてアドバイスを行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11件		契約時に説明の上サインをいただいている。変更時には変更した書類をご説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11件		ガイドラインに基づいて支援計画を作成している。保護者には面談時にご説明し、同意欄にサインをいただいている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11件		モニタリング以外にも、電話や面談で相談を受け付けている。	相談を受けた際には、詳細をしっかりと聞き取り、児童発達支援管理責任者へ報告し、助言、支援に繋げている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2件	9件	コロナ前には企画していたが、現在は休止している。	感染症が落ち着いてきたら徐々に再開していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11件		相談の申し入れがあった際には、すみやかに児童発達支援管理責任者が対応するようにしている。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11件		こぼんはうすだより、通信を発行し、活動の概要や教室の様子をお伝えしている。	紙での発行からアプリでの配信となり、まだ操作に慣れていない方がいるので丁寧にフォローしていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11件		定期的なミーティングにて確認を行っている 鍵付きキャビネットに入れ、施錠して保管している。持ち帰りは禁止。	書類の出しっぱなしがないよう、毎回確認する
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11件		子どもたちには絵カードや写真を使って伝達している。保護者にはメモやメッセージ機能を使っている。	伝えたつもりで済まず、再度確認していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3件	8件	感染症の心配などもあり、交流はまだ難しい。	感染状況が落ち着いてきたら企画していきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11件		各マニュアルを作成し、訓練を実施している。保護者には契約時に説明し、年に1回防災通信を発行している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11件		各マニュアルを作成し、訓練を実施している。	訓練不参加の利用児を減らすため、複数回実施する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11件		契約時に児童館が確認、変更があった際にも確認を行い、個人ファイルに情報を記載している。	個人ファイルに記載し、全職員に周知している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11件		契約時に児童館が確認、変更があった際にも確認を行い、個人ファイルに情報を記載している。おやつや食育の際は、アレルギー除去をしてダブルチェックを行っているから提供している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11件		作成し記入している。ヒヤリハットファイル参照。	個々でヒヤットする度合いが違うので、小さなことでも出来事として共有するようにする
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11件		県の研修に代表者が参加し、社内でも研修会を行っている。	研修会欠席者にも伝わるよう、議事録連絡ノートを活用
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11件		ベルト付きのイスを利用する場合等には個別支援計画に記載し、保護者に説明の上サインをいただいている	日々のミーティングでも確認する